令和元年度　事 業 報 告 書

社会福祉法人　杉並区社会福祉協議会

令和元年度　事業報告

〔令和元年度の主な特徴〕

○　杉並社協にとって令和元年度は、新たな経営行動計画となる実施計画（令和元～５年度）の実施初年度でした。そのため、まず実施計画に掲げた計画事業を着実に推進することを第一の目標として、必要な予算を計上し取り組みました。

特に、重点事業に掲げた「地域支援ネットワークの充実強化」「福祉なんでも相談の地域展開」「地域ニーズに即したささえあいサービスの推進」「広報機能の強化、人材育成計画の見直し」については、組織をあげて取り組むべく力を注ぎました。成果としては後述するように進捗に一長一短がありますが、課題が顕在化したものもあり今後に向けた足がかりとなりました。

○　実施計画では、職員一人ひとりが地域福祉のプロフェッショナルとして地域で汗をかき活躍していくことを根底において、取組を進めることとしています。令和元年度においては、これまで以上に地域に出向き活動する機会を増やしたことで、それぞれの職員が地域で様々な相談事や課題を受け止め考える経験を積み重ね、力量を高めたものととらえています。

○　２月から３月にかけては新型コロナウィルスによる感染症が徐々に拡大し、人と人との接触に「自粛」が求められました。そのため、地域福祉の根幹である「支え合い・助け合い」の機会や、関係機関との協議・協力の機会を、大きく制限せざるを得なくなりました。新型コロナウィルスによる「自粛」は、年度末が迫る時期ゆえに年度内活動実績に少なくない影響を与えています。

Ⅰ　経営管理課

１　令和元年度事業計画に対する主な結果

○　令和元年度は「広報機能の強化」「既存基金の見直しと活用」「人材育成計画の見直し」の３点を重点事業としました。

○　「広報機能の強化」では、社会課題に即して変化する事業を効果的に広報・PR するため、専門家を招き、広報戦略について検討をすすめてきました。広報媒体の特長を生かし、広報活動（PR）と事業案内（SP）を区別した活用を図ることや、社協の信頼関係の構築につながる一貫性と統一性を示したりすることの必要が見えてきましたが、戦略をまとめるまでには至りませんでした。

○　「既存基金の見直しと活用」では、寄付者の意向を踏まえて交通遺児基金を見直し、あらたに「子ども支援基金」を設置しました。それを原資に新たに子ども支援活動助成事業を開始し、区内の子ども食堂の活動に助成しました。

○　「人材育成計画の見直し」では、福祉領域を中心に幅広い領域の知識が必要であるため、外部研修や SDS の体系の見直し、OJT や日々の効果測定までを範囲として、次なる人材育成計画の策定のため、課題を整理しました。

2　令和２年度への主な課題

○　令和２年度は、重点事業として「業務改善・効率化への取組～システム導入と外部専門家の活用による効率化の推進」に取り組みます。

○　具体的には、内部管理業務の効率化と社内での情報共有をより円滑化するため、グループウェアシステムを導入します。また、「働き方改革」をふまえた雇用形態ごとの職のあり方を整理し、その上で人材育成計画の見直しを進めていきます。

Ⅱ　生活支援課

1　令和元年度事業計画に対する主な結果

○　生活支援課では「地域ニーズに即したささえあいサービスの推進」を実施計画重点事業に掲げ取り組みました。

○　ささえあいサービスは家事援助サービス、介護援助サービスを既存の制度では対応しづらい狭間のニーズへの対応を中心に実施してきましたが、サービス実施だけでなく住民相互の助け合い、住民活動としての側面からの検討を加え、サービスの柔軟な運用と、活動のスキルアップを図り次年度につなげていく事となりました。

○　くらしのサポートステーションの生活困窮者支援事業では今まで以上に工夫を凝らし、パンフレットやカードの配布など様々な層まで制度の趣旨が届くよう周知活動に努めました。

また年度末にかけては、コロナウィルスの影響もあり、ささえあい、ファミリーサポート、地域福祉権利擁護事業による支援など、利用者と接する活動については自粛や距離を確保したうえでの支援など実施しました。

2　令和２年度への主な課題

○　令和２年度は新型コロナウィルスの影響による収入減や失業など新たな困窮や生活課題が想定されます。

生活費に困窮する方に対しては緊急小口資金等特例貸付や住居確保給付金の支給など、相当数の困窮者対応を滞りなく実施していく体制づくりが課題となります。

○　重点事業としては「くらしのサポートステーション」に相談機関連携推進員を新たに配置します。今までにもまして複合的な生活課題を抱えたニーズに対し、包括的支援を関連機関との連携をしながら推進していきます。

○　また「地域ニーズに即したささえあいサービスの推進」は今年度も継続的に利用ニーズの見極めと地域の支えあいとしての活動ニーズのマッチングを検討し、多くの方に利用し易い、活動したくなるサービスを目指します。

Ⅲ　地域支援課

1　令和元年度事業計画に対する主な結果

○　地域支援課では「地域支援ネットワークの充実強化」「福祉なんでも相談の地域展開」を重点事業に掲げ、取り組みました。

○　「地域支援ネットワークの充実強化」は、国が推し進める「地域共生社会の実現に向けた地域づくりの調整役として、本会の職員がその役割を果たすため平成 30 年度からの「生活支援コーディネーター」に加え、令和元年 7 月より「地域の支えあい仕組みづくり事業」を杉並区より受託し、新たに地域福祉コーディネーター １名を配置しました。

地域福祉コーディネーターは、西荻南・松庵の一部をモデル地区として、制度の周知ＰＲに努め、生活課題を抱える方の掘り起こしや福祉ニーズの把

握に努めました。

○　生活支援コーディネーターは継続的役割として、第１層の役割を担い、第第２層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター ケア２４　20か所）が行う地域づくりの後方支援と区内全体の取り組みとして、普及啓発に力を注ぎました。

○　福祉なんでも相談の地域展開は、社協の全職員が地域に出向く様々な機会を区民からの相談を受け止める機会ととらえ、相談者に寄り添って必要な対応に導く取組として充実に努めました。また、課題に組織全体で対応していくように相談ケースを情報共有する仕組みづくりを進めました。

２　令和２年度への主な課題

○　令和２年度は、重点事業として「地域福祉コーディネーターの配置による小地域福祉活動の推進」「災害ボランティアセンターの運営の充実」「福祉なんでも相談の拡充」を掲げました。

○　地域福祉コーディネーターの取り組みは、これからの本会の使命ともいうべきもので、地域ごとの小地域福祉活動が推進されることで、国が推し進める地域共生社会の実現に向けた取り組みの基盤を成すものとなります。

西荻南・松庵の一部の対象地域のモデル事業の成果を全区域への展開を見据えた計画づくりへと発展させる実績を積み上げていきます。

○　災害ボランティアセンターの運営の充実は、昨年の台風15号・19号による災害支援でもあったように、より実践的な運営と備えが求められ、本会の業務継続計画（ＢＣＰ）の取組みと合わせ、さらなる充実を図っていきます。

○　福祉なんでも相談の拡充は、元年度取り組んだ社協内での情報共有をさらに進め、全職員が意識的に相談対応ができるようスキルアップを図るための事例検討会や研修、また相談システムの導入に取り組みます。

1 会員の拡充と財政基盤の強化

(1) 賛助会員数及び会費

（会費単位：円）

区分＼年度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
個人会員	会員数	1,646	1,790	1,898	1,967	2,010
	会費	2,522,400	2,889,791	2,963,151	3,036,621	3,043,136
施設会員	会員数	154	161	156	159	157
	会費	334,000	358,000	348,000	345,000	340,000
団体会員	会員数	71	70	76	77	78
	会費	328,000	308,000	334,000	354,000	326,000
地域団体会員	会員数	139	139	129	143	146
	会費	1,670,000	1,669,000	1,766,000	1,716,000	1,976,000
企業会員	会員数	32	33	34	30	30
	会費	380,000	356,000	350,000	302,000	295,000
合計	会員数	2,042	2,193	2,293	2,376	2,421
	会費	5,234,400	5,580,791	5,761,151	5,753,621	5,980,136

(2) 活動会員数

＼年度	令和元年度	平成30年度
会員数	545	550

※ホームヘルプ・ファミリーサポート協力会員等

(3) 寄　　付

①寄付金

（法人運営）	一般寄付	84件	23,624,119円
	指定寄付	11件	550,000円
	合計	**95件**	**24,174,119円**

②寄付物品

・食料支援（缶詰等）		32件
・車いす（全7台）		3件
・商品券		1件
・その他(使用済み切手等)		9件
合計		**45件**

③その他

（長寿応援基金）	4件	**9,988,750円**

1 社会福祉事業

事業名	事　業　内　容
1 地域福祉推進事業 (1)法人運営事業	**1 法人運営会議** 理事会・評議員会を開催した。 主に予算・事業計画、決算・事業報告など組織の重要案件について協議、議決した。 **(1) 理事会** ・毎会計年度終了後3ヶ月以内に開催した。 第1回　6月10日（月） 議案第 1号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会評議員選任候補者 議案第 2号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会杉並ファミリーサポートセンター実施規程の一部を改正する規程 議案第 3号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会生活困窮者等自立支援事業実施規程の一部を改正する規程 議案第 4号 令和元年度定時評議員会(第1回評議員会）の招集 議案第 5号 平成30年度事業報告書 議案第 6号 平成30年度各会計決算報告及び監査報告 報告第 1号 令和元年度資金管理計画 報告第 2号 平成30年度歳末たすけあい運動結果報告 第2回　6月28日（金） 議題第 1号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会会長の互選 議題第 2号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会名誉会長の推薦 議題第 3号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会副会長選任 議題第 4号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会常務理事選任 議案第 7号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任 第3回〔書面開催〕　8月30日（金） 議案第 8号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦 第4回　12月23日（月） 議題第 1号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会会長の互選 議案第 9号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会就業規則の一部を改正する規則 議案第10号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会非常勤職員規程の一部を改正する規程 議案第11号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会パートタイマー規程の一部を改正する規程 議案第12号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程 議案第13号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会杉並ボランティアセンター運営規程の一部を改正する規程 議案第14号 令和元年度第一次補正予算（案） 議案第15号 令和元年度第２回評議員会の招集について 報告第 3号 令和２年度予算編成方針 報告第 4号 令和元年度実施計画上半期報告書 報告第 5号　会長及び常務理事職務執行状況報告書 第5回　3月10日（火） 議案第16号 交通遺児基金の一部取り崩しについて 議案第17号 ボランティア基金の一部取り崩しについて 議案第18号 杉並区地域包括支援センターケア24南荻窪指定介護予防支援事業所　運営規程の制定 議案第19号 杉並区地域包括支援センターケア24梅里指定介護予防支援事業所運営規程の制定 議案第20号 杉並区地域包括支援センターケア24永福指定介護予防支援事業所運営規程の制定 議案第21号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会職員定数規則の一部を改正する規則

事業名	事　業　内　容
(1)法人運営事業	議案第22号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会令和元年度第二次補正予算 議案第23号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会令和2年度事業計画 議案第24号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会令和2年度各会計資金収支予算書 議案第25号 令和元年度第3回評議員会の招集について **(2)評議員会** 第1回　6月27日（木） 議案第 1号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会役員及び監事の選任 議案第 2号 平成30年度事業報告 議案第 3号 平成30年度各会計決算報告及び監査報告 報告第 1号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会欠員に伴う評議員の選任 報告第 2号 令和元年度資金管理計画 報告第 3号 平成30年度歳末たすけあい運動結果報告 第2回　1月30日（木） 議案第 4号 令和元年度第一次補正予算（案） 報告第 4号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会新会長の就任について 報告第 5号 令和２年度予算編成方針 報告第 6号 令和元年度実施計画上半期報告 第3回〔書面開催〕3月30日（月） 議案第 5号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会令和元年度第二次補正予算 議案第 6号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会令和2年度事業計画 議案第 7号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会令和2年度各会計資金収支予算書 **(3)評議員選任・解任委員会** 第1回　6月13日（金） 議案第 1号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会評議員の選任 第2回　10月2日（水） 議案第 2号 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会評議員の選任 **(4)監査** ①杉並区社会福祉協議会・監査 日時：5月31日（木） 議題：平成30年度杉並区社会福祉協議会事業報告及び各会計決算並びに財務諸表の検査 **2 組織基盤の強化** 改定後の実施計画（平成31～35年度）に掲げた事業等を実施し、地域福祉の推進役として役割を果たしていくために、組織基盤の強化を図った。 **(1)資金管理計画の策定** 杉並区社会福祉協議会資産管理方針に基づき、資産管理計画を策定し、資産管理を行った。 ・令和元年度資産管理計画を策定し、理事会・評議員会に報告した。 **(2)自主財源の拡充と増収強化** 福祉課題に柔軟に取り組むための財源の確保に取り組んだ。 ・基金を使用し、新たに子ども支援活動助成金を開始した。 ・広報紙5月号の払込取扱票に寄附欄を設け、呼びかけた。 ・香典返しの寄附を呼びかけた。 **(3)人材の確保と育成** 研修を効果的に活用し、職員の資質向上につながる効果的な研修を企画・実施した。 ・7月24日（水）　救急救命研修を実施 ・12月9日（月）・10日（火）・11日（水）　個人情報保護研修を実施 ・有用な人材の育成を目指した研修内容の見直しに着手した。 ・職員提案制度を創設した。 **(4)会員の参加促進及び組織強化** 会員増強と既存の地域組織との関係性を強化するため、既存会員の継続強化に努めた。 法人会や各種行事の参加者に対し会員勧誘等を行った。

事業名	事　業　内　容
(1)法人運営事業	・既存会員の維持継続 会費振込用紙付広報紙「すぎなみ社協（特別号）」の発行（5月） 前年度までの全会員に向けた会費納入依頼（7月） ・「杉並社協　感謝のつどい」の開催 日　時：1月18日（土）　午後1時から3時45分まで 内　容：地域福祉協力者感謝状贈呈式、事業報告 落語　落語家　桂　文治氏 会　場：セシオン杉並・ホール 参加者：176名　　参加費：賛助会員無料、一般1,200円 **(5)社会福祉法人ネットワーク事務局の運営** 区内の全社会福祉法人が連携して行う地域公益活動の事業をスムーズな運営を目指し、取り組んだ。 ・杉並区社会福祉法人地域公益活動連絡会の立ち上げ ・全体会（7/26）及び幹事会（5/22、6/19、8/28、10/9）の開催支援 ・「すぎなみ地域活動のお役立ちガイド」の発行・配布 ・すぎなみフェスタ（11/3）に出展 **(6)地域協議会の開催** 区内社会福祉法人から「社会福祉充実計画」の提出がなかったため開催を中止した。 **3　部会** 地域の様々な福祉的課題に対して、その課題を共有し、課題の解決に向けた取り組みを社会福祉協議会と連携の下、活動していくために部会を組織し取り組んだ。 **(1)　保育部会** 区内公立・私立保育園により組織し、保育園の社会的役割、子どもの健やかな成長と大人の責任、保育者の専門性を確立するための活動を行った。 ・研修費　70,000円 **(2)　民生委員・児童委員部会** 民生委員・児童委員活動及び児童福祉に関する事業を行った。 ・民生・児童委員の活動助成　432,000円 **(3)　支部活動費の助成** 区内13支部に対し社会福祉の実践と増進を目的に助成した。 ・650,000円（1支部あたり50,000円）
(2)広報事業	社協活動を積極的に周知し、わかりやすい社協をめざした。 社協の存在を知ってもらい、理解を得られるように新たにSNSの導入に取り組み、ホームページ、社協の各種講習会、区内のイベント等で活用し、社協の周知を図った。 **1　広報機能の充実** ・専門家を招き、広報戦略会議（8/22、2/6）を開催した。 **2　「すぎなみ社協」の発行（年間5回、臨時1回）** 社協事業に関わる区民の活動を写真で伝えるなど、理解と共感の輪を広げる紙面づくりを行った。 ・120,000部×4回（7月、9月、12月、3月） ・5月発行分に社協会員振込用紙を印刷 300,000部（各戸ポスティング）×1回 ・臨時で1月に発行し、新会長の挨拶を掲載した。（120,000部）

発行日	主　な　記　事
190号 令和元年5月1日	・杉並社協の事業・活動のご紹介 ・賛助会員募集
191号 令和元年7月1日	・ささえあう地域福祉の輪㉞小山訓久氏・夏のボランティア体験2019・平成30年度決算・令和元年度重点事業・実施計画改定・あなたのまちのきずなサロン2019年版発行・ささえあいサービス登録時研修のご案内・杉並子ども食堂ネットワークリーフレット

事業名	事　業　内　容

(2)広報事業

発行日	主　な　記　事
192号 令和元年9月1日	・ささえあう地域福祉の輪㉟梶原美恵子氏・きずなサロンで地域とつながる・赤い羽根共同募金運動が始まります・赤い羽根共同募金地域配分の申請受付・くらしのサポートステーション出張相談会in救世軍ブース記念病院・杉並区成年後見センター講演会・チャレンジ！ボランティア・ささえあいサービス協力会員募集
193号 令和元年12月1日	・ささえあう地域福祉の輪㊱綾部庄一氏・西荻地域からはじまる地域の支え合いづくり！・歳末たすけあい運動にご協力お願いします。・令和2年度地域福祉活動費助成金申請対象事業募集・杉並社協感謝のつどい・食料のご寄付のお願い・生活福祉資金貸付制度教育支援資金のご案内
194号 令和2年3月1日	・ささえあう地域福祉の輪㊲荻野志保氏・すぎなみ社協のパートナー紹介・令和2年度ボランティア保険のご案内・不要入れ歯ご寄付のお願い・令和元年度赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動結果報告
新年号 令和2年1月15日	・新会長挨拶・杉並区社会福祉法人地域公益活動連絡会発足・チャレンジ！ボランティア地域とつながろう講座・令和元年度台風15号・19号による被災地支援に職員を派遣・お手伝いできることはありませんか？

3　杉並社協ハンドブックの発行

実施計画改定版に合わせ、令和2年版を発行した。

4　杉並社協リーフレットの発行

杉並社協の各種イベント等で配布した。

地図等一部修正し、令和2年度に向け発行した。

5　杉並社協ホームページの運営管理

定期的に事業の新着情報等を掲載し、ホームページの充実に努めた。

6　SNS（フェイスブック）による情報発信

写真等を活用し、イベントやサロンなどの実践を逐次発信した。

(3)普及啓発事業

○すぎなみ地域福祉フォーラムの見直し・検討

地域力向上を目的に暮らしの課題や地域の福祉課題を発信し、解決への糸口を共に考える場について見直し・検討した。

(4)小地域福祉活動推進事業

地域住民が主体となって身近な課題を拾い上げ、小地域単位の地域特性にあった活動を行い、住民相互の地域活動により顔の見える関係づくりを進めるため、活動団体に対する支援事業を行った。

1　きずなサロン支援事業

(1)きずなサロンの立ち上げ支援や運営支援

地域の有志によるサロン活動の立ち上げ支援や運営支援を行った。気軽に立寄り、お茶を飲みながら、地域住民同士の交流を図る場を支援した。（全47か所、設立順、★印は新規立ち上げ）

延べ開催数：**764**回、参加人数：**14,605**人　令和2年3月31日現在

きずなサロン名称	開催日／時間	会　場	開催回数	参加人数
ふれあいサロンきずな	毎週金曜日 午後2時～5時	ゆうゆう堀ノ内松ノ木館多目的室 （松ノ木2-38-6）	41	1,296
高円寺北きずなサロン	第1・2・3・4 火曜日 午後1時～3時	ゆうゆう高円寺北館 （高円寺北3-20-8）	42	1,051

事業名	事　業　内　容				
(4)小地域福祉活動推進事業	きずなサロン名称	開催日／時間	会　場	開催回数	参加人数
	荻窪きずなサロン	第2水曜日 午後1時～3時	荻窪ふれあいの家 (荻窪2-29-3)	11	202
	きずなサロンハートto Heart	第2・4火曜日 午後1時30分 ～3時30分	阿佐ヶ谷中学校 (阿佐谷南1-17-3)	21	1,432
		○小地域福祉活動ﾆｭｰｽ「阿佐谷きずな」の発行 阿佐谷にまつわる話、福祉の情報、話題などを住民に知らせるために小地域広報紙を隔月で発行。 喫茶、歌、ペン習字、手芸の活動を実施。おしゃべり回想法なども行っている。		
	きずなサロンさくら	第2水曜日 午後1時 ～3時30分	和泉サナホーム (和泉4-16-10)	10	222
		○小地域福祉活動ﾆｭｰｽ「さくらだより」の発行 ハープの演奏会やクリスマス会などの実施。季節にちなんだ軽食の提供(七夕、ひな祭り) 令和2年度から会場を新泉サナホームに変更。			
	きずなサロンA	第4月曜日 午後1時30分 ～3時30分	イベントルーム永 (永福1-36-7)	7	69
		本年度からサロン代表宅に併設のイベントルーム永でサロンを開催。			
	きずなサロンきみの家	第2月曜日 午後2時～4時	自宅開放 (土宅：上井草1丁目)	9	33
	子育てきずなサロンままころ	第1・3・5月曜日 午前10時～12時	ゆうゆう阿佐谷館 (阿佐谷北2-18-17)	22	596
	きずなサロンみんなの広場ほっぺ	毎週火曜日 (祝日は休み) 午前10時30分 ～午後2時30分	荻窪家族レジデンス (荻窪4-24-18)	41	636
	高円寺北みんなのひ・ろ・ば	第3土曜日 午前10時～12時	高円寺二丁目町会会館 (高円寺北2-2-21)	10	73
	きずなサロンわ西永福	第3土曜日 午前11時 ～午後6時	すぎなみ１５１ (永福4-19-4 安藤ビル2-C)	12	238
	きずなサロンひまわり	毎週水曜日 午後1時～4時	都営堀の内三丁目アパート集会所	36	516
		31年4月から都営堀の内三丁目アパート集会所に変更。			
	子育てきずなサロンプチ・シュシュ	第4木曜日 午前9時30分 ～11時30分	井草地域区民センター (下井草5-7-22)	11	92
	すくすく子育てサロン和田堀	第3水曜日 午後1時30分 ～3時30分	堀之内妙法寺仮堂 (堀ノ内3-48-8)	10	328
		○看護師、保健師、栄養士の専門職のによる講座を実施している。			

事業名	事　業　内　容

(4)小地域福祉活動推進事業

きずなサロン名称	開催日／時間	会　場	開催回数	参加人数
きずなサロン庵	第4日曜日 午後1時～3時	東京第三友の家 (松庵2-5-1)	10	289
	クリスマス音楽会、ハーモニカ演奏会、ハンドマッサージなど、多彩な講座を開催した。			
きずなサロン宮三・ほっぺ	第2･4金曜日 午前11時 ～午後3時	慈宏寺祖師堂2階 (宮前3-1-3)	20	295
高井戸きずなサロン	第2日曜日 午後1時～4時	浴風会南陽園１階 (高井戸西1-12-1)	11	84
西荻南きずなサロン	第3日曜日 午前10時～12時 第2水曜日 午後2時～4時 (※)	まちナカ・コミュニティ西荻みなみ (西荻南2-28-14)	15	429
	七夕・書道・マジック・ハンドマッサージ等、参加者による企画が活発に行われた。 ※10月から開催日を増やした。			
きずなサロン　花	第2日曜日 午後1時～3時	デイサービス龍宮城 (阿佐谷南2-5-2)	4	49
	デイサービスの職員不足により、7月にサロン終了。			
西荻北きずなサロン	第2火曜日 午後1時～4時	自宅開放(鈴木宅：西荻北5丁目)	11	170
	<ミニイベント>ケア24職員による講座、落語会の開催などを実施。また手作り菓子の提供など。			
下井草駅前きずなサロン	第2土曜日 午後2時～4時	グリーンデイ下井草 (下井草3-39-21)	10	337
阿佐谷南きずなサロン虹	第2金曜日 午後1時30分 ～3時30分	ゆうゆう馬橋館 (高円寺南3-29-5)	11	342
	季節に合わせた手工芸やイベントなどを実施している。			
きずなサロン交流ひろば	第4日曜日 午後1時～4時	阿佐谷北三丁目都営住宅集会所 (阿佐谷北3-33-26)	9	121
いぐさきずなサロンYY	第1木曜日 午後1時～3時	自宅開放（中川宅：井草1丁目）	9	271
	<ミニイベント> お茶会、異文化交流、手品、クリスマス会、トロンボーン演奏などを実施。			
高井戸東きずなサロンふじ	第3水曜日 午後1時 ～3時30分	自宅開放(秋山宅：高井戸東3丁目)	10	76
きずなサロンめだか	第3水曜日 午後1時30分 ～3時30分	阿佐谷北三丁目都営住宅集会所 (阿佐谷北3-33-26)	10	164
きずなサロンA・J	第2木曜日 午後1時30分 ～3時30分	自宅開放 (原田宅:阿佐谷北6丁目)	11	205

事業名	事　業　内　容				
(4)小地域福祉活動推進事業	きずなサロン名称	開催日／時間	会　場	開催回数	参加人数
	清水きずなサロン	第1金曜日 午後1時30分～3時30分 第4月曜日 午後1時30分～4時	金：自宅開放（中吉宅:清水1丁目） ※11月からウェルファーム杉並・天沼区民集会施設にて実施 月：ゆうゆう桃井館（桃井1－35－2）	17	241
	方南和泉きずなサロン峰	第3･4木曜日 午後2時～4時	ホワイト・ホース（方南2-13-11）	17	230
	高円寺南きずなサロンひとつな	第3水曜日 午後1時～3時30分	高円寺フリースペースヒトツナ(ルック商店街中程高円寺南3-23-16)	10	86
	高井戸駅前きずなサロンパレット	第3土曜日 午前10時～12時	高井戸地域区民センター内高齢者活動支援センター第2講座室（高井戸東3-7-5）	9	142
		〈ミニイベント〉 ハロウィンパーティー・クリスマス会などの開催			
	子育てきずなサロン下井草プレママころ	第2･4月曜日 午前10時～12時	東原中学校隣民家（下井草1丁目）	20	391
	阿佐谷きずなサロンイロドリ	第2水曜日 午前10時～12時	ゆうゆう阿佐谷館（阿佐谷北2-18-17）	10	70
		平成31年4月から開催日の変更			
	桜上水きずなサロン散歩道	第1･3水曜日 午後1時30分～3時30分	自宅開放(五十嵐宅:下高井戸3丁目)	20	261
		茶話会のほかに、ケア24の認知症養成講座やギターコンサートなどを開催。			
	きずなサロンひだまり	第3月曜日 午前10時～12時	ゆうゆう高井戸東館（高井戸東3-14-9）	5	43
		9月をもってサロン終了。			
	きずなサロン沖縄タウン	第1･2･3土曜日 第2･3･4木曜日 午後1時30分～3時30分	沖縄タウン内ユーキ設備ショールーム（和泉1-8-17）	66	525
	きずなサロン下高ファイブ	第2水曜日 午後1時30分～4時	区営下高井戸5丁目住宅集会所（下高井戸5－1－1）	10	271
		茶話会と「わがまち一番体操」を中心にし、季節ごとに演奏会等を開催している。			
	あさ北きずなサロン	第1･3･5火曜日 午後1時30分～4時	久遠キリスト教会地下ホール（阿佐谷北2-25-8）	18	970
		令和元年10月～会場が久遠キリスト教会へ変更・開催日が第1火曜日のみで第3・5火曜日は休止中。			

事業名	事　業　内　容					
(4)小地域福祉活動推進事業		きずなサロン名称	開催日／時間	会　場	開催回数	参加人数
		きずなサロンいずみ	第2金曜日 午後2時 ～4時	自宅開放（和泉マンション106） （和泉4丁目）	11	129
		きずなサロンみんなのたまり場“松下さんち”	第1～4火曜日 午後1時30分～4時 第3金曜日 午前11時～午後3時	松下さんち （本天沼1丁目）	49	470
		きずなサロンE.D.O.	毎週月曜日 午後1時～3時	E.D.O.進学センター2階 （高円寺南2-7-1）	33	478
			茶話会を基本として、健康麻雀、トランプ、ウノ等を開催している。			
		きずなサロンもみの樹	第4木曜日 午後2時～4時	もみの樹・杉並コミュニケーションルーム （和泉3-52-8）	10	104
			茶話会を中心として、専門職の(NS・PT・OT)ミニ健康講座やハーモニカ演奏、手品披露、登山話等を開催。			
		きずなサロン下高ふらっと	第3金曜日 午前11時30分～ 午後1時30分	下高井戸児童館図工室 （下高井戸4-19-6）	10	248
			昼食時間を挟んで茶話会が出来るように開催している。ぷくぷくのパンを販売。			
	★	きずなサロンかりん	第2木曜日 午後1時～3時	宮前四丁目アパート集会室 （宮前4-13）	9	95
			茶話会の他に「わがまち一番体操」の講師を招いてのミニ体操や健康麻雀を実施している。			
	★	きずなサロン今川つどいの家	第4水曜日 午後2時～4時	グループホーム今川つどいの家 （今川1-15-11）	7	115
			茶話会を中心として、ボランティアによる演奏と懐かしい歌を全員で歌い過ごしている。			
	★	きずなサロンNC	第2木曜日 午後1時～5時	ニューシャポー （上井草1-24-22 小山ビル地下1階）	5	96
			茶話会の他に、ギターに合わせての歌やカラオケを中心に過ごしている。			
	★	子育てきずなサロンぱぱころ	第2または第3土曜日 午後1時～3時	東原中学校隣民家 （下井草1丁目）	4	24
			茶話会を中心として、子育て中のパパたちへ子育てについてのお話や情報提供を行っている。			

事業名	事　業　内　容
(4)小地域福祉活動推進事業	**(2)サロン参加に向けた情報発信** ・きずなサロンリーフレットの2019年度版を作成した。 町連を通して区内回覧板配布、各団体・機関・窓口での配布を行った。 ・きずなサロン開催日カレンダーを作成し、杉並区社会福祉協議会のホームページに掲載。また社会福祉協議会窓口でポスター、チラシの掲示及び配布を行った。 **(3) きずなサロン運営のい･ろ･はの開催** きずなサロンの立ち上げ支援を目的とし、新規立ち上げ希望者がきずなサロンの立ち上げにあたって理解を深められるよう、運営者との交流を実施した。 4月のみ従来の参加型で行い、その後は出張型に変更した。 〈参加型〉 4月19日（金）参加者：9名 〈出張型〉 新規サロン立ち上げに応じて7回実施 **(4) サロン運営者への研修会・交流会の開催** ・きずなサロン運営者へ研修会・交流会を行った。 第1回 実施日：10月3日（木） 講師：織田祥代氏 （一般社団法人東京都レクリエーション協会　公認講師） テーマ：サロンで使える！簡単レクリエーション講座 参加人数：34名 第2回（2回連続講座） 実施日：①11月11日（月）　②12月16日（月） 講師：富田知子氏（山野美容芸術短期大学　美容総合学科） テーマ：ハンドコミュニケーション講座 参加人数：①20名　②19名 **(5) 地域イベントへの参加** ・井草センターまつりへの参加 実施日：9月7日（土）8日（日） 参加者：3サロン 内容：井草周辺の5サロンのパネル展示、チラシ配布等。 新たな取り組みとして、きずなサロンミニクイズを実施。 **2　関係機関との連携強化** 地域担当が定期連絡会への参加及び事業への協力、情報収集・提供等を行う中で、地域課題や困りごとを共有し、解決方法を一緒に考える。 ・杉並区民生委員児童委員協議会 ・杉並区町会連合会 ・ケア２４ほか **(1)杉並区民生委員児童委員協議会** 各地区民生委員・児童委員と協働で地域福祉の増進を図った。 ・会長協議会（9回）、会長連絡会（4回）、13地区協議会（9回）に出席、社協からの連絡、依頼、報告を行った。 ・自主研修の支援 地区外研修の視察先の候補等の相談に対応した。また、自主研修などに参加して、連携を強化した。 **(2) 杉並区町会連合会** ・常任理事会（10回）、17地区町会連合会（7回）に出席、社協からの連絡、依頼、報告を行った。
(5)車いす貸出事業	車いすが必要となった場合に、近隣で借りられるように地域と協力して貸出事業を行った。 **1　短期の車いす貸出及び貸出拠点の拡充** 民生・児童委員ほか、ケア24、商店会、福祉施設に設置 取扱者：民生・児童委員　拠点数：148　所　保管台数：157 台　件数：551 件

事業名	事　業　内　容

(5)車いす貸出事業

社協（ウエルファーム）	1	所	35 台	192 件
ケア24	17	所	46 台	796 件
町会・自治会・商店会	19	所	25 台	101 件
その他	22	所	37 台	106 件
合計	207	所	300 台	1,746 件

2 広報活動の強化

車いす短期貸出事業をより分かりやすく説明したリーフレットを新たに作成し、関係機関や窓口に配布をした。

・車いすリーフレット　2,000部作成

3 車いす名簿の更新、作成

民生委員児童委員の改選と、新規設置施設が増加したことに伴い、車いす名簿を更新した。

・800部作成

4 車いすのメンテナンス

快適、安全な利用のため、必要に応じて業者による必要な修理、部品交換を行った。

(6)地域福祉助成事業

地域福祉を推進する活動（事業）を応援するため助成事業を行った。

1　地域福祉活動費助成事業の実施

(1)平成31年度地域福祉活動費助成金

助成合計額：3,832,000円

チャレンジ応援助成：14団体　2,340,000円

定例活動活性化助成：16団体　1,492,000円

(2)令和2年度地域福祉活動費助成金　事前説明会の実施

実施日：12月14日（土）、17日（火）　午後1時30分～3時

参加：23団体、29名

(3)令和2年度地域福祉活動費助成金の審査

実施日：3月4日(木)午前9時30分～12時30分

出席者：6名

(7)ネットワーク推進事業

小地域でケア24等がもつ既存のネットワークを活用し、地域での孤立防止や災害時の共助などにつながるよう、多世代交流や顔がつながる地域づくりをめざし、多世代の交流促進を行った。

1　地域支援ネットワーク

地域で、日頃から声をかけあい、ささえあい、助けあえるようなご近所のつながりができる小さな単位で、多世代がつながる地域づくりに取り組む。

○ケア２４圏域でのモデル事業

＜ケア２４善福寺（善福寺、西荻北3～5丁目地域）＞

・ケア２４善福寺、NPO法人おでかけサービス杉並、オープンリビングけやきの見える家、杉並社協で「ご近所ささえあいづくりプロジェクト」というネットワークチームを継続的に実施。昨年度から引き続き、西荻、善福寺圏域内の居場所（サロン）を地域住民に周知するイベントを開催するため「オープンサロンDAY実行委員会」を組織し、企画実施した。

・ご近所ささえあいプロジェクト：3回

・オープンサロンDAY実行委員会：3回

実施日（5/17・18）

なお、「ご近所ささえあいプロジェクト」は3年間の実践を踏まえて、ケア24善福寺圏域の第2層協議体へ移行していくことを確認し、6月で取り組みは終了となった。

2　地域福祉活動計画策定の検討

次年度策定を目指して、下半期に学識経験者の選定を行い、打合せを行った。

事業名	事　業　内　容
(7)ネットワーク推進事業	**3 新たな地域課題への対応** 新たな地域課題を受け止め、区民、事業者等による活動支援のネットワーク（仕組みづくり）に積極的に取り組む。 昨年度に引き続き、子どもの貧困対策として「子ども食堂ネットワーク連絡会」の事務局を担い、連絡会、学習会開催の支援を行った。また子ども食堂への各種寄付や区内農家からの野菜の寄付調整も行った。 ●杉並子ども食堂ネットワーク連絡会 ①第１回連絡会（元年7月23日） ②第２回連絡会（元年10月29日） ③第３回連絡会（２年3月24日） ●学習会等の開催 ①食品衛生講習会（２年2月25日）参加人数：23人 ②杉並区青少年委員との学習会＆交流会（２年1月28日）参加人数：18人 ●区民向けの講演会＆パネルディスカッション　参加人数:239人 【日時】元年12月12日　午後7時～9時 【会場】座・高円寺２ 【講師】湯浅誠氏（全国子ども食堂支援ｾﾝﾀｰむすびえ理事長） 【内容】講演会：区内子ども食堂の現状 ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ：２つの子ども食堂の実践報告 ●寄附等食材の橋渡し33件 ●各子ども食堂へのフードドライブの橋渡し（毎月） ●各子ども食堂チラシを区内小中学校へ区と協力して配布
(8)福祉教育推進事業	地域の福祉課題等を取り上げ、ボランティア学習、福祉教育の推進を図った。 **1 模擬体験セット、体験用車いす等の貸出** ・活動器材の貸出 地域福祉活動啓発事業の一環として、体験用に車いす・高齢者模擬体験セットの貸し出しを行った。 **2 小中高大学等でのボランティア学習、福祉教育プログラムの企画への協力、講話依頼への対応** ・4月20日　西宮中学校　ボランティア講話 ・5月14日　朝日生命保険相互会社　新人研修(高齢者模擬体験) ・5月18日　天沼中学校　人権教育 ・6月14日　和泉中学校　社会貢献・募金について ・6月25日　東京立正短期大学　ボランティア講話 ・6月26日　杉並高等学校　ボランティア講話 ・6月28日　高円寺中学校　車いす体験 ・10月2日　杉並第七小学校　視覚障害について ・10月9日　高井戸第二小学校　福祉体験(車いす、高齢者、視覚障害、点字) ・11月28日　大宮小学校　福祉体験(車いす、視覚障害) ・12月5日　高井戸小学校　福祉体験(車いす、高齢者、視覚障害、点字) ・1月11日　東田中学校　視覚障害者について(当事者講話) ・2月4日　みずほ銀行方南町支店　社員研修(高齢者模擬体験) **3 障害者理解をすすめるための福祉教育プログラムへの当事者の紹介** ・新人研修受入の高齢者施設　15施設 ・募金の使い道の一つとして団体に講話依頼 ・井草中学校の福祉体験学習に外国人支援をしている団体を紹介

体験セット	所有数	貸出件数
模擬体験セットⅠ・ｷｯｽ	20セット	31 件
車いす	10台	22 件
点字練習器	60台	7 件
点字指導者用ボード	1 枚	4 件
白杖	33本	8 件
アイマスク	40個	9 件
合計		81 件

事業名	事　業　内　容
(9)災害ボランティアセンター事業	災害発生時にスムーズな被災地支援活動ができるよう、平常時から関係機関と連携し支援体制づくりに取り組んだ。 **1　災害ボランティアネットワーク連絡会の開催** ・10月10日(木)　第1回災害ボランティアネットワーク連絡会実施 ・12月19日(木)　第2回災害ボランティアネットワーク連絡会実施 **2　災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座の開催** 【講座修了生及び関係者対象のスキルアップ講座】 ・ 9月27日（金）午後6時30分～8時30分 スキルアップ講座「傾聴について」　参加者26名 ～仕事に家庭に災害支援に役立つスキルを身につける～ 講師：岩崎　彰宏　氏 一般社団法人　日本創作療法学会　理事 NPO法人　日本クリエイティブ・セラピスト協会　理事 【第6期　災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座】 全7回実施　申込者数:22名 ・ 第1回「災害時の区の取り組み／災害ボランティアセンターとは」 日時　10月26日(土) 午後2時～5時 講師　杉並区防災課、保健福祉部管理課、 杉並ボランティアセンター職員 内容　講義 参加者　14名 ・ 第2回「多様な視点で災害活動に取り組む」 日時　11月16日(土) 午前10時～12時 講師　浅野幸子氏 （減災と男女共同参画　研修推進センター共同代表） 内容　講義及びワークショップ 参加者　11名 ・ 第3回「防災まち歩き体験」 日時　11月30日（土）　午後1時30分～5時 講師　杉並災害ボランティアの会（本養成講座修了生） 内容　フィールドワーク 参加者　11名 ・ 第4回「災害ボランティアセンターのお手伝いって？」 日時　12月14日（土）　午後1時30分～4時 講師　宮崎賢哉氏（災害支援・防災教育コーディネーター） 内容　講義及びワークショップ 参加者　11名 ・ 第5回「災害ボランティアセンターのシミュレーションを体験しよう！」 日時　12月21日（土） 講師　宮崎賢哉氏（災害支援・防災教育コーディネーター） 内容　講義及びワークショップ 参加者　11名 ・ 第6回「まとめとふりかえり」 日時　1月11日（土）　午後2時～4時 講師　宮崎賢哉氏（災害支援・防災教育コーディネーター） 内容　講義及びワークショップ 参加者　12名 ・ 第7回「災害ボランティアセンター運営訓練」 日時　2月16日（日）　午前10時～3時 内容　講義及び訓練（ボランティア役として参加） 参加者　12名 ○8月24日　西宮中学校震災救援所訓練に参加。 第1期～第5期講座修了生10名が参加。 **3　災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施** 2月16日(日)にウェルファーム杉並にて実施。

事業名	事　業　内　容
(9)災害ボランティアセンター事業	本会職員、区職員と第1期～第6期講座修了生、センター運営委員、震災救援所運営連絡会 役員、民生児童委員、地域防災コーディネーター育成機構、杉並区職員　77名が参加した。 また「災害ボランティアセンター運営マニュアル」を改訂。 必要な備蓄器材を充実させ、マニュアルに基づいた訓練を実施した。 **4　災害ボランティアセンターの周知PR** 11月9日(土)区の総合震災訓練(都立和田堀公園)に参加。 災害ボランティアセンターと講座修了生が立ち上げた任意団体「杉並災害ボランティアの会」の周知PRを行った。 **5　千葉県鋸南町、栃木県佐野市への支援活動** 台風15号、19号により大きな被害が発生した千葉県鋸南町、栃木県佐野市に対し、社会福祉協議会が立ちあげた「災害ボランティアセンター」の運営支援のために下記の通り職員を派遣した。 派遣先・期間・人数：千葉県鋸南町　9月20日～24日（5日間）　1名 栃木県佐野市　11月1日～5日（5日間）　1名 11月10日～14日（5日間）　1名 **6　社協内災害対応委員会の開催** 杉並社協における災害対応を推進するため、社協内災害対応委員会を設置し、取組みについて検討した。 ・1月31日、3月13日に開催。
(10)ボランティア活動推進事業	ボランティア活動に関する相談全般を受けるほか、ボランティア活動を希望する個人・団体とボランティア活動を必要としている方々へのコーディネートを行うことにより、ささえあう地域づくりを進めた。 **1　コーディネート事業** **(1)地域とつながろう講座～チャレンジ！ボランティア～の開催** ・ボランティア活動希望者を対象に少人数で 説明会を開催した。 ・地域課人材育成係と連携してボランティア活動についてのPRを強化した。

内　　容	日　程	参加人数	場所
オリエンテーション ①ボランティアとは（４原則） ②活動を始める際の注意点 ③情報提供の時間 ④ボランティア保険の説明 4月,5月,6月,12月：ボラセン単独実施	4月23日	3	ウェルファーム杉並
10月6日：すぎなみ地域大学と協働企画 「チャレボラ特別企画　幸せの届け方 ～ボランティアってなんだ？～」 講演：田中 優氏 講話：井村 真氏、樋口 蓉子氏 柿澤 卓氏	5月22日	8	ウェルファーム杉並
10月25日：ささえあい係と協働企画 12月6日：高井戸地域区民センター 協議会の依頼により講話 「目からウロコ！ボランティアという 生き方～生きがい探しの旅～」	6月27日	7	ウェルファーム杉並
3月7日：すぎなみ地域大学協働企画 「地域交流ボランティア～ひとり ひとりの自治体間交流～」） (新型コロナウィルス感染拡大で中止)	10月6日	42	ウェルファーム杉並
	10月25日	13	ウェルファーム杉並
	12月6日	19	高井戸地域区民センター
	12月7日	5	ウェルファーム杉並
	3月7日	コロナにより中止	ウェルファーム杉並

事業名	事　業　内　容
(10)ボランティア活動推進事業	**(2) 特技を活かしたボランティア登録、コーディネート及び「特技ボランティア広場」の開催** ・ボランティア登録77団体 特技のあるボランティアの登録を推進。ラインナップを発行。 ・11月1日のボランティア受け入れ担当者連絡会の中で5組の特技ボランティアを紹介し特技を披露。 ・特技ボランティア交流会（コロナにより中止） 日時：2月26日（水）　　会場：ウェルファーム杉並 披露：マンドリン演奏「フラカッソ」 **(3) 窓口、電話等によるボランティア活動相談対応及びコーディネート業務** ・活動相談　総計1,360件

相　談　内　容	件数
ボランティア活動をしたい	174
ボランティア募集依頼	49
情報掲載依頼	37
特技さんに関する相談	70
情報提供希望	42
センターに関する相談	338
個別ケース	113
使用済み切手	72
ボランティア・行事保険	137
寄付	6
災害支援に関する相談	7
助成金	145
その他、意見・要望など	170
合計	1,360

(4) 切手整理ボランティア

・毎月第3水曜日　午後2時～4時　参加人数　延べ193名

2 人材養成・研修事業

(1)受入先のボランティアコーディネート体制の充実、連携強化

・福祉施設等を対象としたボランティア受入れ担当者連絡会を実施し意見交換、情報共有を行った。

・5月8日：企画会議実施（区内4施設の協力員出席）

①「ボランティア受入れ担当者連絡会」（研修会）の開催

日時:7月12日　午後2時から4時30分まで

会場:ウェルファーム杉並

参加:区内福祉施設(高齢者施設・障害者施設等)から20名

「地域とボランティアをつなぐ～コーディネーターの役割～」

講師:釜島　豪顕氏

社会福祉法人　東京英和会　なぎさ和楽苑（特別養護老人ホーム）

参加者:20名

②「ボランティア受入れ担当者連絡会」の開催

・11月1日　午後1時30分～4時30分まで

・特技ボランティア発表（5組紹介）

・情報交換

参加者:20名

事業名	事　業　内　容
(10)ボランティア活動推進事業	**(2)地域でのインフォーマル活動の人材養成及びフォローアップ** ①傾聴ボランティアスキルアップ講座の開催 日時:11月13日　午後1時30分から4時30分まで 会場:ウェルファーム杉並 参加:杉並区内で傾聴ボランティアとして現在活動している方 内容:引き込もりとうつのケース(応答練習)ほか、ロールプレイや質疑応答などを行い、自身の活動を振り返った。 講師:パートナーシップ　アンド　リスニング　アソシエーション(PLA) 小谷津　光子氏 参加者:20名 ②傾聴ボランティア養成講座の開催 日時:1月31日・2月7日・14日・21日、実習2月25日～3月12日・13日 午後1時30分から4時30分(第5回は体験実習のため受入れ施設先により異なる) 会場:杉並区役所分庁舎 参加:区内在住・在勤・在学の方で、受講後、傾聴ボランティアとして活動ができる方　28名(修了者27名) 内容:理論と体験学習により、傾聴ボランティアに必要な知識と技能を学んだ。第5回では、傾聴ボランティアグループ協力のもと、区内高齢者施設での実習(コロナにより中止) 講師:特定非営利活動法人P.L.A　小谷津光子氏、松嶋美陽氏 **(3)夏のボランティア体験の開催** ・小学生、中学生、高校生、大学生を対象に夏休み期間中のボランティア体験を実施。 ・申込み及びオリエンテーション 6月29日・7月6日　申し込み受付、他に窓口にて受付 7月24日から8月30日まで　それぞれの活動先でのボランティア体験 【参加者数】 中学生 64 高校生 92 大学・専門学生 16 勤労者等 5 計 177 【ボランティア体験学習　受入施設・団体数】 子ども / 高齢者 / 障害児・者 / 国際交流 51 / 19 / 13 / 2 医療 / 環境 / 防犯 / 計 0 / 1 / 1 / 87 ・5月17日、18日　受入先事前説明会実施 参加：35団体 ・9月20日、21日　受入先事後報告会実施 参加：13団体 【手話教室】 一般区民を対象に、聴覚障害のある方とのコミュニケーションを学ぶ講座を開催した。 日時：7月24日、26日、29日、8月2日 参加者：117名 **3　全世代対象の参加プログラムの検討・実施** ・全世代対象のプログラムを検討した **4　情報の収集と発信・提供** **(1)事業と連動した情報紙「ボラン・て」の編集、発行** ・毎月10日発行(月5,000部)　情報掲載件数142件(月平均12件) **(2)ホームページの運営** ・ボランティア、地域活動に関する情報を発信 情報掲載数：257件（月平均21,4件） アクセス数：556,471件（月平均46,372件）

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事　業　内　容</th></tr>
<tr><td>(10)ボランティア活動推進事業</td><td>

5 ボランティアセンターの運営

(1) 運営委員会の開催

開催日	内　容	参加人数
6月27日	平成30年度 事業報告	10人
9月3日	令和元年度 事業について	7人
12月6日	上半期事業報告 下半期の事業について	11人
2月17日	令和2年度 事業予定 委員改選について	11人

(2) 部会（広報・企画・調査部会）の開催

広報部会	「ボラン・て」の編集及び企画 開催回数：12回、出席者：延べ60人
調査部会	調査報告書作成に向けて 開催回数：3回、出席者：延べ11人
企画部会	センター研修事業の企画検討等 開催回数：1回、出席者：延べ4人

(3) センター利用のための団体登録、個人登録

センターの利用を前提に団体登録を進めた。個人に対しては定期的に情報誌を自宅に送るための情報通知登録を行った。

・センター登録　個人99名、団体67団体

(4) 活動器材の貸出

①器材の貸出

・リソグラフ：46件　　・点字プリンター：16件

・大判プリンター：31件　　・くま着ぐるみ：0件

(5) 保険加入の支援

ボランティア保険の加入事務

・加入者数8,782名　総保険料3,032,000円

</td></tr>
<tr><td>(11)地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業含む）

東京都社会福祉協議会</td><td>

判断力が十分でない障害者や高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、契約に基づき支援する。本人の権利を護りながら福祉サービスを利用する際の手続きや、郵便物等書類の確認と対応、日常の金銭管理などを行い、地域で生活を続けるための支援を行う。また、判断力が確かで外出に支障のある重度身体障害者にも対応している。成年後見センターを始め、行政、ケア24、関係機関等と連携しながら、権利侵害を防ぎ、適切な支援を行った。

1 適切な相談対応と契約締結

・相談への適切な対応

・専門員のスキル向上への取り組み

(1)相談内容及び件数、契約者支援回数

相　談　内　容	件数
問い合わせ	36
初回相談	78
契約前相談援助	636
契約者相談援助	6,946
相談合計	7,696

契約者支援回数	2,509

(2)契約件数

区分	人数
新規契約者数	49
解約者数	38
令和2年3月31日現在契約者数	134

※解約者の内、成年後見制度利用への移行は13件。

2 権利擁護の周知普及

・ケアマネジャー、ケア24職員、民生委員等への事業説明

・広報紙での周知

・社協内の他部署や他機関と連携した周知活動

</td></tr>
</table>

事業名	事　業　内　容

(11)地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業含む）

（１）出張説明会等

5月20日	杉並区主催　地域包括・介護保険サービス事業所職員等研修 認知症高齢者の権利擁護について
10月2日	西荻地域区民センター協議会主催 あんしんサポート杉並区成年後見センター合同説明会
2月13日	高円寺圏域ケアマネ連絡会 事業説明及び事例検討
2月21日	福祉事務所 事業説明及び連携の在り方検討

（2）その他

・杉並区後見センターとの業務連絡会の実施
・杉並区地域自立支援協議会出席

3 関係機関、地域との連携強化による契約者支援

行政、ケア24、すまいる、ケアマネジャー、成年後見センター等との連携強化に取り組んだ。

4 地域全体の福祉の向上

地域住民との連携体制の充実。個人の生活上の課題を地域の課題として捉え、地域全体の福祉の向上に結びつける。

5 生活支援員の資質向上

・5月30日新任生活支援員研修実施
・7月29日現任生活支援員研修実施
・専門員との連携強化

(12)あんしん未来支援事業

区内に暮らしている判断力の十分な高齢者や障害者等で、支援可能な親族がいない方を対象とした、杉並社協の独自事業。

確かな判断能力のあるときに緊急時の支援方法を決めて契約し、定期的な見守りをすることで安心して暮らせるよう支援する。

関連制度の動向や社会情勢を見ながら、事業の在り方について検証を進めた。

1 適切な相談対応と契約者支援

・研修等により相談スキルの向上を図る。
・日常の見守り及び必要時の適切な対応
・支援体制の整備

〈新規相談〉

・新規相談(実人数)　21名

相　談　内　容（複数回答）	件数
事業問い合わせ	7
入院等の保証人	9
葬儀・埋葬	6
遺言作成	2
その他	7
相談合計	31

・新規継続相談(契約前相談)　40件

〈契約者支援〉

支　援　内　容	件数
見守りサービス（定期）	284
見守りサービス以外（連絡調整等）	104
支援合計	388

〈契約者・解約者数〉

区分	人数
新規契約者数	0
解約者数	1
令和2年3月31日現在契約者数	24

・契約に向けて相談を進めていたケースが2件あったが、いずれも本人都合にてキャンセルとなった。

制度開始からの契約者累計	43

事業名		事　業　内　容
	(12) あんしん未来支援事業	**2　あんしん未来支援事業審査会の実施** 契約審議や協議事項について年3回の開催を予定。今年度は審議案件がなかったため実施せず。 **3　関係機関との連携強化** ケア24や民生児童委員、医療機関等関係機関との連携を進めた。
1　地域福祉推進事業	(13) ささえあいサービス事業	日常生活を送る上で手助けの必要な人（利用会員）の自立を援助するために、訪問して家事や介護をする人（協力会員）の登録を行い、区民相互の助け合いの活動を地域の中で行った。 協力会員となりうる区民にPR活動を行い、参加を促すために事業案内を作成し、機会のあるごとに周知に努めた。 利用相談に対しては訪問し、状況把握の上適切な案内を行っている。 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響のため2月期以降活動・利用が減少。 **1　相談援助及び会員の登録** ・相談に対して必要な情報提供を行い、入会希望者に実態把握のため訪問を行った。 ・活動に協力する会員の登録・面談を行った。 ・家事援助サービス及び介護援助サービスを提供した。 (1) 新規相談件数：193件（15.7%減） (2) 新規訪問件数：　70件（4.1%減） （事業内容を説明し、入会・利用を確認するための訪問） (3) 経過訪問件数：151件（14.7%減） （状況把握を兼ねて行った訪問） (4) 協力会員紹介訪問件数：51件（26.1%減） （協力会員を紹介するために行った訪問） (5) 会員の登録 協力会員の実活動者は昨年度末に比べて3ポイント減少し、年間平均で44.1%となった。 ・利用会員登録数：　271人（退会　91人　新規　49人） ・協力会員登録数：　249人（退会　43人　新規　36人） (6) ホームヘルプサービスの実施

サービス	派遣回数	派遣時間
家事援助サービス （食事の支度、掃除等）	6,077回 （前年度比13.4%減）	8,417時間 （前年度比16.6%減）
介護援助サービス （食事の介助、補助等）	365回 （前年度比37.5%減）	923時間 （前年度比27.5%減）

2　研修と交流会

・登録時研修、フォローアップ研修等、協力会員に必要な研修と交流を行った。

(1) 登録時研修：　6回（参加者延28人）

○地域とつながろう講座　チャレンジボランティア

ボランティアセンターとの共同企画による活動紹介を行い、協力会員の増加を図った。

・実施日：10月25日午後　ウェルファーム杉並（参加者13人）

(2) フォローアップ研修

講座名	日程	参加人数
ミルクのプロに聞く骨と健康のお話	6月25日	17
外出介助研修	10月23日	11
認知症サポーター養成講座	2月4日	15

(3) 交流会

内　容	日程	参加人数
施設見学と情報交換	5月24日	20
フォトフレーム作りと情報交換	12月6日	5

事業名	事　業　内　容
(13)ささえあいサービス事業	**3 情報提供とＰＲ** (1) 情報紙「ささえあい」を発行し、会員に情報提供を行った。 ・ 利用会員向け　4回（季刊） ・ 協力会員向け　12回（毎月） (2)「広報すぎなみ」に協力会員募集記事の掲載 ・ 4月、5月、7月、9月、10月、1月、2月の7回、記事掲載を行った。 (3) 協力会員募集チラシの掲示・配布 ・南北バス「すぎ丸」の車内に協力会員募集チラシの掲示 実施日：4月・10月、1か月間 ・区内公共機関に対してＰＲチラシの取り置きを依頼した。 （24か所、705枚） (4) その他　実施事業の理解を進めるためケア24等の訪問活動を行った。 **4 情報共有とニーズの把握** 地域関係団体に周知活動をするとともに地域活動と連携して情報 情報交換会に参加した。 **5 これからの地域の助け合いのあり方について** 検討を重ね、次年度に引き継いだ。
(14)ファミリーサポートセンター事業 **杉並区**	区民の子育てを支援するために、子育ての手助けがほしい人(利用会員)と手助けができる人(協力会員)が会員となり、地域の中で援助活動を行った。 区民の協力活動への参加を促すために、出張型の説明会を引き続き実施する等ＰＲ活動に努めた。 一方、利用希望者の多様な要望に対する今後の対応について杉並区と検討・協議を行うとともに、要望について丁寧に聞き取り他の機関等のサービスの紹介や情報提供を行った。 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響のため3月期以降活動・利用が減少。 **1 相談援助及び会員の登録** ・相談に対して必要な情報提供を行い、入会希望者に面接を行った。 ・活動に協力する会員の登録を行った。 (1)会員の登録 利用会員：　1,458人（退会 604人　新規 537人） 協力会員：　286人（退会　48人　新規　49人） 両方会員：　8人（退会　3人　新規　6人） (2)活動状況について 活動回数：　5,084回 総活動時間：7,193時間58分 総活動時間：7,193時間58分

活　動　内　容	回数
保育所･学校等の送り、迎え	1,746
保育所・幼稚園・学校の登園、登校前の預り及び送り	254
保育所・学童保育等からの迎え及び帰宅後の預り又は預かりのみ	1,428
子どもの病気時の援助	2
保育所・学校等休みのときの援助	74
保育所等施設入所前の援助	81
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	56
保護者等の求職活動中の援助	4
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	25
保護者等の買い物等の外出の場合の援助	226
保護者の出産や病気、急用などの場合の援助	755
子どものお稽古・塾の送迎	28
事前打合せ	367
その他	38
活動回数総計	5,084

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事　業　内　容</th></tr>
<tr><td>(14)ファミリーサポートセンター事業</td><td>
2 研修と交流会
・協力会員向け出張説明会を行った。
・登録時研修、ステップアップ講習会、フォローアップ研修会等、協力会員に対して必要な研修を行った。
・交流会を開催し、会員間の情報交換・交流を進めた。
<table>
<tr><td>研修・講習会等</td><td>実施回数</td><td>参加人数</td></tr>
<tr><td>登録時研修</td><td>6</td><td>32</td></tr>
<tr><td>ステップアップⅠ講習会</td><td>5</td><td>51</td></tr>
<tr><td>ステップアップⅡ講習会</td><td>3</td><td>35</td></tr>
<tr><td>フォローアップ&交流会</td><td>実施日</td><td>参加人数</td></tr>
<tr><td>①平成30年度実績報告、情報交換</td><td>7月3日</td><td>13</td></tr>
<tr><td>②「かんたんヨガでリフレッシュ」</td><td>9月25日</td><td>9</td></tr>
<tr><td>③「ほっこりひととき 絵本と手づくり」</td><td>11月22日</td><td>9</td></tr>
</table>
3 情報提供とＰＲ
(1)情報紙の発行
情報紙「杉並ファミサポ通信」を利用会員・協力会員・関係機関等に送付した。（4回、季刊発行）
(2)ポスター、チラシの配布、掲示
・「広報すぎなみ」に協力会員募集記事の掲載
5月、7月、9月、11月、1月、3月の6回、記事掲載を行った。
・区内関係機関
利用を希望する世帯への便宜を図るために、「利用の手引き」の配布を依頼した。（2,855冊）
(3)協力会員募集説明会
新たな協力会員の掘り起こしをめざし、事業説明会を実施し、興味関心を高め、協力会員になることを検討する材料を提供した(1日2回実施)。
説明会の開催にあたっては町会やボランティアセンター等への周知協力依頼を行い、PRに努めた。
<table>
<tr><td>実施日</td><td>会　場</td><td>参加人数</td></tr>
<tr><td>10月9日</td><td>ウェルファーム杉並</td><td>3</td></tr>
<tr><td>10月25日</td><td>ウェルファーム杉並</td><td>13</td></tr>
</table>
（再掲）
4「杉並子育て応援券」への対応
利用会員の応援券による支払いに対応できるように、協力会員に協力を要請し、社協窓口での換金を行った。
・ 取扱件数： 202件
・ 取扱金額： 1,341,500円（2,683枚分）
</td></tr>
<tr><td>(15)高齢者入居支援事業
杉並区</td><td>
自立した日常生活が営める65歳以上の方又は65歳以上と60歳以上の方で構成されている世帯や身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳もしくは愛の手帳の交付を受けている単身の障害者世帯を対象に、預託金を預り、本人が亡くなった際の「葬儀の実施」「残存家財の撤去」を行った。
・契約件数： 13件　（新規申込みは1件）
・実施件数： 5件
・解約件数： 5件
</td></tr>
<tr><td>(16)福祉相談</td><td>
全職員が地域に出向く機会を活かし、地域の福祉課題の把握に努め、孤立しがちな住民や、どこに相談したらよいのかわからない住民が地域で暮らし続ける力を支えるため相談事業を行う。

※なお、全職員の相談記録を集計するための相談集計シートの準備が遅れたため、9月からの統計データとなっている。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事　業　内　容</th></tr>
<tr><td>(16)福祉相談</td><td>
1　福祉なんでも相談の新体制での実施
(1)全職員での相談の受付
電話や窓口のほか地域に出向き相談を行った。
また、全職員が閲覧できるシート及び各係内で記載・共有できるシートを作成した。
①相談受付件数　　総計276件　　・電話　：202件
・来所　：35件
・メール　：1件
・訪問　：38件
②相談内訳（1件あたり複数集計あり）
<table>
<tr><th colspan="2">相談内容内訳</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>1</td><td>健康や医療に関すること</td><td>25</td></tr>
<tr><td>2</td><td>福祉制度に関すること</td><td>28</td></tr>
<tr><td>3</td><td>住宅に関すること（ごみ屋敷等）</td><td>36</td></tr>
<tr><td>4</td><td>生活費に関すること</td><td>35</td></tr>
<tr><td>5</td><td>人間関係（家族・近隣等）に関すること</td><td>7</td></tr>
<tr><td>6</td><td>ひきこもり・不登校に関すること</td><td>9</td></tr>
<tr><td>7</td><td>仕事探し・就職に関すること</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>介護に関すること</td><td>23</td></tr>
<tr><td>9</td><td>子育て・子供の教育に関すること</td><td>7</td></tr>
<tr><td>10</td><td>障害に関すること</td><td>9</td></tr>
<tr><td>11</td><td>老後不安に関すること</td><td>7</td></tr>
<tr><td>12</td><td>ＤＶ・虐待に関すること</td><td>4</td></tr>
<tr><td>13</td><td>地域活動・ボランティア活動に関すること</td><td>24</td></tr>
<tr><td>14</td><td>寄付に関すること</td><td>13</td></tr>
<tr><td>15</td><td>制度・窓口など問い合わせ</td><td>36</td></tr>
<tr><td>16</td><td>その他</td><td>78</td></tr>
<tr><td colspan="2">相談内容内訳総計</td><td>348</td></tr>
</table>
(2)事例検討・勉強会
それぞれ職員の相談経験に違いはあるが、職員同士で知識や知恵を集結させ、支援方法について検討したり事例を深めるまた、自分の知識やスキルを高める機会とした。
・9／6（金）午後4時～5時30分
－複合的な課題を抱えたケースを事例に学習会
</td></tr>
<tr><td>(17)交通遺児援護事業</td><td>交通機関による事故によって父母等を失った満18歳未満の児童・生徒に援護金を支給した。また、高校進学祝金を支給した。
・関係機関へ周知PRを行った。
・支給件数：一世帯、1名　（新規申し込みなし）</td></tr>
<tr><td>(18)ひとり親家庭高等職業訓練促進貸付事業
東京都社会福祉協議会</td><td>東京都内において高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対しひとり親家庭高等職業訓練促進資金の貸付事務を行うことにより、ひとり親家庭の親の自立の促進を図った。
上限：入学準備金50万円、就職準備金20万円
・貸付件数　入学準備金0件、就職準備金4件</td></tr>
<tr><td>(19)生活福祉資金貸付事業
東京都社会福祉協議会</td><td>地域に暮らす低所得者世帯や障害者世帯、日常生活上療養又は介護を必要とする高齢者世帯に対し、必要な目的の資金を貸付けることにより安定した生活を送ることができるよう支援した。
また、生活困窮者自立支援相談窓口（くらしのサポートステーション）との連携を強化し、生活困窮している世帯等に必要な支援を行った。
1　生活福祉資金貸付
(1)　資金貸付制度の周知
・各地区民生児童委員協議会(13地区)に出席し、パンフレットや制度運用変更の案内チラシを配布し、制度の周知と協力依頼を行った。</td></tr>
</table>

事業名	事　業　内　容
(19)生活福祉資金貸付事業 **東京都社会福祉協議会**	・広報「すぎなみ社協」9月・11月号にて教育支援資金の周知を行った。 ・母子福祉資金担当者の会議に参加し、制度の運用変更の説明と周知を行うと主に、円滑な事業実施のための連携を図った。 **(2) 低所得者等への支援** ・世帯の自立及び償還が見込まれる世帯に対し資金の相談と貸付を行うことで、安定した生活を送れるよう支援した。

	新規相談件数	新規貸付件数	継続相談件数(貸付・償還)	当会扱い債権件数
福祉資金・教育支援資金	100	26	1021	366
*1 緊急小口資金	189	0	50	44
*2 総合支援資金	38	0	43	319
不動産担保型生活資金	29	1	109	9
要保護世帯向け不動産担保型生活	7	2	64	6
その他生活相談等	51	0	33	0
合計	**414**	**29**	**1,320**	**744**

*1緊急小口資金には特例緊急小口資金を含む。
*2総合支援資金は離職者支援資金を含む。

	新規相談件数	新規貸付件数	継続相談件数(貸付・償還)	当会扱い債権件数
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0

(3) 償還業務の適切な遂行と滞納者への対応

償還完了　21件

・東京都社会福祉協議会から発行される償還通知等を送付するとともに、借受人の償還が適切に進むよう促した。
・滞納者世帯の生活状況の把握に努め、必要に応じて救済制度及び他制度利用へのアプローチを行った。
・償還金長期滞納者に対する督促状(東京都社会福祉協議会会長名による内容証明郵便の督促状)の対象者として6債権を候補として選定した。また、督促状受理者に対し償還を含め生活安定に向けた面談や電話相談を行った。

(20)応急援護事業	生活困窮者に対し、区役所と福祉事務所を窓口として、応急的、一時的な援護を行うことによって自立更生を助長し、生活の安定と生活意欲の増進を図った。（貸付窓口：杉並福祉事務所　保健福祉部管理課） ・貸付件数：208件 ・貸付総額：1,053,799円、返還総額：820,759円
(21)生活支援体制整備事業 **杉並区**	高齢者ができる限り住み慣れた地域で自立して自分らしい生活が送れるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを包括的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んだ。 **○第1層生活支援コーディネーターの受託** 杉並区全域において地域の高齢者のニーズや地域資源の把握、課題の提起や関係機関のネットワーク化を図り、第２層生活支援コーディネーターと共に、地域の中で不足する地域資源の開発、担い手の養成、多様な活動主体間のネットワークづくりを図った。 ※令和元年度から生活支援コーディネーターを4名配置。 対応件数が増加し傾向となっている。複数職員が関わる案件や地域づくり支援等、継続して関わっているものについては、延べ件数として集計。 (1)①地域資源・地域課題の把握と整理及び問題の提起 ②地域の多様な関係機関、生活支援サービス提供主体、活動団体等への協力依頼等の働きかけ ③生活支援サービスの担い手の養成 上記①～③の項目を合わせて　170件 (2)区民・地域に対する支えあいの地域づくりへの働き　　10件 (3)地域資源（住民主体の生活支援サービス等）の開発　　14件

事業名		事　業　内　容
	(21)生活支援体制整備事業 杉並区	(4)関係者間のネットワークの強化　延べ　192件 (5)区が主催する「生活支援体制整備連絡協議会（第1層協議体）への参加・協力　4件 (6)①第2層生活支援コーディネーター等地域づくりを進めるケア24職員との連携・協力　延べ276件 ②包括ケア推進員連絡会の出席　6件 (7)区が行う生活支援体制整備事業の情報発信等への協力　4件 (8)①その他区が必要とする研修、連絡会、地域ケア会議等への参加、協力　延べ　72件 ②在宅支援課との連絡調整会　7件
	(22)子ども支援活動助成事業	子どもが健やかに育成される環境整備を図るため、子ども食堂等子どもに対する支援活動に対して助成を行った。 **1　子ども支援活動助成金の実施** 助成実績：6団体　430,682円
	(23)地域力強化推進事業 杉並区	住民の身近な圏域において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境をつくり、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備を図る。 そのため地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備と地域福祉活動への関心を高め、研修会等を実施していく。 **○地域福祉コーディネーターの配置による地域力強化** 西荻南地域をモデル地区内として地域の個別課題、地域課題の収集（アウトリーチ）、地域の集いの場、拠点の立上げ支援を行う。7月から事業受託し、事業開始となった。 ○西荻南地域での展開 (1) 周知ＰＲ：チラシ作成・配布 ・地域福祉コーディネーター及びふくし何でも相談会の周知PR用チラシを作成、対象地域にポスティング（約9,000枚） (2) ニーズの把握・個別支援：72件 地域支援：101件 (3) 人材育成（ミニ講座の開催）10件 (4) ネットワーク構築：56件
2　歳末たすけあい運動事業	(1)歳末たすけあい運動	住民相互のたすけあいを基調として、住民自らが参加する福祉コミュニティを実現するための多様な活動を財政面から支援する。 **1 歳末たすけあい運動の実施** ・地域住民が主体となって行う福祉活動や福祉施設が地域と協働で取り組む事業を財政面から支援するため12月1日から12月31日の間、募金活動を実施。 目標額：12,500,000円（元年度実績8,305,746円） **2 東京都共同募金会　杉並地区協力会　の事務局運営** ・赤い羽根共同募金募金運動の実施（10月1日から12月31日まで） 目標額：8,500,000円（元年度実績6,537,818円） ・東京都共同募金会杉並地区配分推せん委員会の開催 **(1)監査** ・第1回　5月31日（金）午前11時45分から午後0時15分まで 内容：平成30年度事業報告並びに会計監査の実施 **(2)理事会の開催** ・第1回　6月10日（月）午後1時15分から1時45分まで 議案第1号　東京都共同募金会杉並地区協力会会長の選任 議案第2号　東京都共同募金会杉並地区協力会副会長の選任 議案第3号　東京都共同募金会杉並地区協力会欠員に伴う理事の選任 議案第4号　東京都共同募金会杉並地区協力会公印管理規程の一部を改正する規程 議案第5号　平成30年度東京都共同募金会杉並地区協力会事業報告 議案第6号　平成30年度東京都共同募金会杉並地区協力会会計決算報告及び監査報告

事業名	事　業　内　容
(1)歳末たすけあい運動	報告第1号　平成30年度歳末たすけあい運動募金 結果報告 ・第2回　7月30日（火）　午前10時から10時15分まで 議案第7号　東京都共同募金会杉並地区協力会欠員に伴う理事の選任 議案第8号　平成30年度　赤い羽根共同募金運動要綱の制定 2部：東京都共同募金会による説明会 ・第3回　3月10日（火）　感染症の蔓延防止という特殊事情から書面により実施 議案第9号　東京都共同募金会杉並地区協力会欠員に伴う理事の選任 議案第10号　令和2年度東京都共同募金会杉並地区協力会事業計画 議案第11号　令和2年度東京都共同募金会杉並地区協力会収支予算 報告第2号　令和元年度赤い羽根共同募金運動募金実績 報告第3号　令和元年度歳末たすけあい運動募金実績 **(3)赤い羽根共同募金運動の実施（運動期間10月1日から12月31日まで）** ・目標額　8,500,000円 ・10月１日、天沼中学校生徒と社協職員で荻窪駅頭募金を実施。 **3 東京都共同募金会杉並地区配分推せん委員会** (1)地域配分（B配分）の広報周知：広報紙への掲載及び区内施設等にチラシ配付 (2)配分申請受付後（30件）、新規申請先を中心に視察(8団体) (3)配分推せん委員会の開催 ・第1回　11月29日（金）午後6時から8時まで 杉並区地域配分（B配分）審査 ・第2回　1月24日（金）午後2時から3時30分まで 令和2年度歳末たすけあい運動募金の配分について 東京都共同募金会杉並地区配分推せん委員会配分推せん方法について
3　長寿応援基金事業 (1)長寿応援基金の管理	杉並区長寿応援ポイント制度の「長寿応援ファンド」の適切な管理・運営及び、助成金の交付を行う。 **1　基金の管理** ・令和元年度基金実績　9,988,750円 **2　助成交付** **(1)長寿応援ファンド助成** ・助成総額　4,987,760円（６件）
4　杉並区受験生チャレンジ支援貸付事業 (1)杉並区受験生チャレンジ支援貸付事業	低所得世帯の子どもの高校進学を支援するため、「東京都受験生チャレンジ支援貸付事業」の補完事業として、中学3年生を対象に学習塾等の受講費用の貸付を行った。 ・貸付件数　76件 ・貸付額　7,551,700円

2　公益事業

事業名	事　業　内　容
1　介護保険事業 (1)地域包括支援センター(ケア24)及び介護予防支援事業 ・南荻窪 ・梅里 ・永福 杉並区	「認知症対策」「在宅医療連携推進」「生活支援体制整備」等の業務を通じて、地域包括ケアシステムの構築を図るよう取り組んだ。 また、高齢者の様々な相談を正確に聴き取り判断し、適切な支援につなげた。 **1　地域包括ケアシステムの構築** **(1)地域との連携** ①地域包括ケア推進員を中心とした地域のネットワーク作り ・地域活動グループや集合住宅の住民がつながり、支え合う関係をつくるための講座やイベントを開催した。 ・町会等地域団体の会合へ出向き、地域把握に取り組んだ。 ・ひとり暮らし高齢者等たすけあいネットワークに取り組んだ。 ○あんしん協力員 ○地域連絡会

	人数
南荻窪	29
梅里	24
永福	14
合計	67

	回数	人数
南荻窪	10	168
梅里	9	94
永福	10	91
合計	29	353

②社会資源の活用と広報活動
・ケア24だよりの発行

	発行回数
南荻窪	6
梅里	7
永福	6

③介護者支援（家族介護教室の開催）

	回数	人数
南荻窪	4	119
梅里	4	64
永福	4	59
合計	12	242

(2)困難事例対応とケアマネジャー支援
各ケア24単位で開催するもののほか、区内7圏域での在宅医療地域ケア会議や近隣のケア24、地域の居宅支援事業所の主任ケアマネジャーと合同で開催した。

2　高齢者総合相談・支援
(1)総合相談・支援と実態把握
地域に住む高齢者に関するさまざまな相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぐとともに、必要に応じて継続的に支援した。
高齢者や家族等からの相談を待つだけでなく、アウトリーチにより地域の高齢者の心身の状況や家庭環境等についての実態把握を行った。的確に実態把握をすることにより、支援やサービスを必要とする人への支援につながった。
○相談受付件数
○実態把握件数

	件数
南荻窪	7,245
梅里	6,590
永福	6,259
合計	20,094

	件数
南荻窪	1,693
梅里	1,874
永福	1,309
合計	4,876

(2)高齢者虐待防止・権利擁護事業
行政や関係機関との連携を行いながら、ケース対応を行った。
(3)介護予防ケアマネジメント
区内3ブロックの介護予防ケアマネジメント支援会議を経て、必要なケースについて短期集中予防サービスにつなげた。

事業名		事　業　内　容
	(1)地域包括支援センター(ケア24)及び介護予防支援事業	・予防給付ケアマネジメント 要支援の認定を受けた高齢者に対し、状態の維持、改善を目標とした予防プランを作成するとともに、高齢者自身の生きがいや自己実現のための取り組みを総合的に支援した。 南荻窪 2,757 梅里 3,308 永福 1,863 合計 7,928
2 要介護認定調査事業	(1)要介護認定調査事業 (指定市町村事務受託法人) 杉並区	介護保険の新規申請、更新申請、区分変更申請の認定調査を行った。 **1 区内及び区外の認定調査の実施** **(1)区内・区外調査実績** 調査実績の全体は前年度に比べ105%高くなった。 区内調査実績は前年度に比べて106%高くなった。 区外調査実績は前年度に比べ94%低くなった。 区内調査 9,884 9,308 南荻窪 2,831 天　沼 2,983 浜田山 4,070 区外調査 1,014 1,076 合計 10,898 10,384 **(2)他保険者調査実績** 杉並区以外の自治体(保険者)と契約を結び、28件の調査を実施した。 **2 調査員の資質向上** ・調査員1人が東京都の開催した認定調査員現任研修に参加した。(9月17日) ・調査員13人が杉並区の開催した認定調査員現任研修に参加した。(10月11日) ・個人情報保護に関する社内研修を行った。(12月9日～11日) ・杉並区介護保険課認定係の職員を講師に招き、認定調査員研修を行った。(2月19日～11日)
3 訪問育児サポーター事業	(1)訪問育児サポーター事業 杉並区	子育て支援活動の経験があり、研修を受けた訪問育児サポーターが、子育てに不安感・負担感を感じている1歳未満の乳児のいる家庭を訪問し、相談・援助を行った。 対象となる家庭の掘り起しのため、関係機関と連携し事業を周知した。 **1 相談援助及び訪問活動** ・利用相談 132 件 (前年度比 11.4%減) ・利用申込 127 件 (前年度比 9.3%減) ・コーディネーター訪問 116 件 (前年度比 15.3%減) ・サポーター訪問 181 回 (前年度比 8.1%減) **2 研修と交流会** **サポーター登録数:45人** ①スキルアップ研修 「イライラしない親子関係って？」をテーマに、児童虐待予防について子どもの虐待防止センター職員による講義を行った。 実施日：11月26日 (参加者8人) ②交流会 登録するサポーターに対して情報交換するため交流会を開催した。 実施日：6月20日 (参加者9人) **3 情報提供とＰＲ** 利用対象家庭に対して周知活動を行うため、保健センターや児童館等にチラシの配布を依頼した。(累計：9,890枚) また、保健センターや児童館等を訪問し、対象家庭や職員に案内を行った。(18回)

事業名	事　業　内　容
4 私立保育所施設整備資金貸付事業 (1)私立保育所施設整備資金貸付事業	私立保育所施設及び諸整備の充実を図り、円滑な運営を確保し児童福祉の向上に寄与するため、施設整備のための資金を無利子で貸付ける事業であるが、令和元年度は申請なし。 (限度額　200万円、60ヵ月以内で償還) ・令和元年度　　実績なし
5 生活困窮者等自立支援事業 (1)生活困窮者等自立支援事業 **杉並区**	生活に困窮している人に対し、生活保護受給に至る前の段階で相談援助を行い、課題が複雑化・深刻化しないよう包括的な支援体制のもと、伴走型の支援を行った。 また複合的な課題があり、現行の制度のみでは支援することが難しい人に対し、関係機関との十分な連携のもと、既存の個別的なニーズに対応する制度・福祉サービスを活用しつつ、ワンストップで生活全般に渡る包括的な支援を提供する仕組みづくりを行った。 **1 相談窓口の運営** **「くらしのサポートステーション～生活自立支援窓口～」** **(1)周知・PR** ・リーフレット配布（3,765枚） ・パンフレット配布（214枚） ・カード配布（100枚） ・ポスター（A3サイズ）配布（計543枚） ・くらサポ通信作成・配布（75箇所1,929部） ・事業説明会（5回） ・在宅医療生活支援センター講演会講師（1回） ・食料寄付周知（広報すぎなみ掲載、チラシ105枚） **(2)相談支援** 相談件数：新規件数 1,192／延べ対応件数 8,387 プラン件数：352 就労支援対象者：251 ・アウトリーチ（訪問支援）による把握・相談支援（随時） ・各支援機関との連携のための情報交換等の訪問（随時） ・出張相談会の開催（2回） **(3)住居確保給付金支給対象者の支援** 当初申請前相談：245／面接件数：611 申請件数：当初申請 40／延長申請 11／再延長申請 2 **(4)家計改善支援** 新規件数：利用件数 234 **2 各支援機関との連携体制の構築** **(1)他機関との連携** ・各支援機関との連携のためのカンファレンスを随時実施した。 **(2)社協内他部署との連携** ・相談者のニーズを他係にフィードバックし、他事業との連携や社会参加の機会となる社会資源の開拓等を目的にとして、情報共有を行った。 **3 職員の資質向上** ・外部研修への参加 厚生労働省、東京都主催研修（16回、のべ19名参加） 外部研修会（10回、のべ11名参加） ・職員勉強会の実施（1回目：東京都ひきこもりサポートネットについて 2回目：自殺未遂事例について） **4 その他ワンストップ支援に必要な取り組み** ・食料寄附の呼びかけ ・中間的就労等の受入事業者の開拓

3　収益事業

事業名	事　業　内　容
1　自動販売機設置事業 (1)自動販売機設置事業	収益を社会福祉事業もしくは公益事業の経営に充当するため、杉並区役所内に自動販売機を設置した。 収益：3,025,638円